

## 『白い木』



木が一部白くなっている木です。特に上の枝部分が白くなっています。葉っぱはなく雪がかぶっているように見えました。太陽の光で光っているみたいです。太陽の光で綺麗な木が見られて驚きました。

## 『梅』



東久留米特別支援学校の森には、梅が咲いています。撮影した日は、2月9日です。色がさくらに似ているので、どうすれば覚えられるかなと感じました。

## 『そっと落ちていた悲しげな一つのミカン』



2月4日に東久留米特別支援学校の裏にある林の中で撮ったミカンです。見た様子はポツンと落ちていた感じです。写真を撮った時に感じたことは、タイトルにも書いてあるのですがそっと落ちていた悲しげな一つのミカンに見えました。五感で感じたことを一つずつ言うのであれば、周りはとても静かで少し遠くから枝を踏む音や笑い声が聞こえてくる感じでした。太陽は出ていましたが、少し肌寒かったのを覚えています。

## 『冬の花in Higashikurume』



2月上旬に学校の裏庭で梅の花を撮影しました。見た感じ、とても小さく白く少しだけ赤が入っていました。また、触感は柔らかく強く握るとすぐに破けそうでした。とってみてこの学校にもこんな自然豊かな梅の花があって自然に恵まれていることを実感しました。撮っている時に鳥のさえずりが聞こえてきていかにも『自然』という感じでした。

## 『ナンテン』



東久留米特別支援学校の裏には、木々が生い茂る林があります。撮影したのは、2月の初め頃です。緑豊かな林の中にポン★っと紅色の植物がしょんぼりと、植えられているこのナンテン...少し物足りないのは、この時期だけだろうと思いました。秋は紅色で染まり、冬は青に染まった景色になるのだろうと思いました。

## 『赤い実』



2月4日に東久留米特別支援学校の裏の森で撮影しました。この写真は、正確ではありませんが、千両という実です。見た目では大きい葉っぱに小さい実が2つ付いていました。撮った時は、探すのが大変でした。でもどんな実何だろうと思いつつ撮ることが出来ました。撮影した日は寒くて風も吹いていました。